

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

(別紙4)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年6月24日

【評価実施概要】

事業所番号	873700454		
法人名	有限会社松本薬局		
事業所名	高齢者グループホームひまわり		
所在地	行方市玉造甲4 2 2 (電話) 0299-35-6012		
評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	水戸市千波町1 9 1 8 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成19年11月14日	評価確定日	平成20年6月24日

【情報提供票より】(19年10月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年5月26日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤8人, 非常勤1人, 常勤換算8.5人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	1 階建の	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無		有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要(平成19年10月26日現在)

利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護1	0	要介護2	3
要介護3	1	要介護4	4
要介護5	1	要支援2	
年齢	平均 82 歳	最低 68 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	飯塚医院 井坂歯科医院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、「利用者一人ひとりの人格の尊重と、住み慣れた地域での生活、技術を磨き家族とともに支えあう支援」を理念に掲げ、管理者・職員は日々の生活の中で理念の実践に向けて日常的に取り組んでいる。
利用者や職員はホームでの生活の中で教えられたり励まされたり、感謝の言葉をかけられたりと、お互いに支え合う暖かい関係を築いている。
事業所の多機能性を活かした支援としてショートステイを実施しており、ショートステイ利用時の送迎、家族や利用者の希望による通院介助等柔軟な支援を実施している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 運営者と職員は改善項目について会議をもち、広報やパンフレットの配布、口腔ケアの支援、刃物等の保管場所への鍵の取り付け、併設の事業所等と合同行事を開催している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) サービス評価の意義や目的を全職員に伝えるとともに、自己評価について職員で話し合い作成している。 外部評価の結果を全体会議で確認し、サービスの質の向上に努めている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は民生委員や老人会会長・行政・家族会代表・ホーム関係者等で2ヶ月ごとに開催している。 会議では認知症についての説明やホーム行事等の報告、オムツ補助事業などについて話し合いを行っている。 今後は、自己評価や外部評価等についての話し合いや報告を行い、サービスの質の向上に活かす取り組みを期待する。 市が開催しているケアマネジャー会議に参加している。 問題解決に向けた積極的な情報の提供、保健師や教育委員会・ボランティアセンター・図書館・福祉センター等、多くの機関に働きかけ、職員研修やホームの行事等に活かす取り組みが望まれる。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 利用者の状況について電話連絡のほか、家族の訪問時に具体的に報告している。 また、毎月発行している広報誌を利用して暮らしぶりを伝えている。 金銭管理は家族の了解のもと管理しており、支出状況については1年間分をまとめて報告し、家族のサインを受けている。 家族の訪問が少ない方の意見も反映出来るようアンケート等を実施することを期待する。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 夏祭りを通して地域子どもたちや保育園児と交流している。 また、老人会が毎月実施している定例会の会場としてホームを提供し、定例会終了後に利用者との交流会を実施している。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の人格を尊重し、地域の一員としてその人らしく生活できるよう地域生活の継続支援と、専門職としての知識や技術向上を目指した理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者や職員は朝の申し送りや会議等、日々のかかわりの中で理念について話し合い実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りを通して地域の子どもや保育園児と交流している。 また、老人会が毎月実施している定例会の会場としてホームを提供し、定例会終了後に利用者と交流会を実施している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的を全職員に伝えるとともに、自己評価について職員で話し合い、作成している。 外部評価の結果を全体会議で確認し、サービスの質の向上に努めている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は民生委員や老人会会長・行政・家族代表・ホーム関係者等で2ヶ月ごとに開催している。 会議では認知症についての説明やホーム行事等の報告、オムツ補助事業などについて話し合いを行っている。		今後は、自己評価や外部評価等についての話し合いや報告を行い、サービスの質の向上に活かす取り組みを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が開催しているケアマネジャー会議に参加しているが、市等の機関と十分に連携を図るには至っていない。	○	問題解決に向けた積極的な情報の提供、保健師や教育委員会・ボランティアセンター・図書館・福祉センター等多くの機関に働きかけ、職員の研修やホームの行事等に活かす取り組みが望まれる。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の状況について電話連絡のほか、家族の訪問時に具体的に報告している。 また、毎月発行している広報紙を利用して暮らしぶりを伝えている。 金銭管理は家族了解のもと管理しており、支出状況については1年間分をまとめて報告し家族のサインを受けている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約書に苦情相談機関を明示するとともに契約時に説明している。 職員は家族の訪問時等を利用して不満や要望等を聞き、会議等の中で話し合い、家族の意見が反映できるように取り組んでいる。		家族の訪問が少ない方の意見等も反映できるようにアンケート等を実施することを期待する。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職は開設以来1名であるが、離職時には利用者に時間をかけて説明したり、家族の面会時に説明している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員の採用時や職種に応じた研修をしている。 また、グループ会議や引継ぎ時に研修報告をしており、全職員が研修内容について把握している。	○	出張命令簿について運営者や管理者の押印による確認や会議録に記録する取り組みが望まれる。 また、職員全員が参加できる内部研修等を計画的に実施する取り組みを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と運動会や食事会等の交流会を実施している。 また、県グループホーム協議会に加入しており、研修会への参加や地域の同業者と話し合うなど交流する機会を持っている。	○	他事業所職員同志の交流を図り、日々のサービスの質の向上につなげる取り組みを提案する。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に自宅訪問や事業所の見学・ショートステイを利用する等、家族・利用者が安心して利用できるよう体験や話し合いをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者から野菜の作り方や肥料の配合・漬物の漬け方を教わるなど、ともに喜び、励まされ、学び支えあう関係を構築している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者一人ひとりに声かけをし、日々の言葉や表情、動作等から本人の思いや意向の把握に努めている。 また、家族や関係者から情報を得て、利用者一人ひとりの希望に添えるよう支援している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族、関係者、職員等と話し合い、介護計画を作成している。 介護計画の作成後に家族に承認を得ている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	家族や本人の要望や変化に応じて、本人・家族・職員等と話し合い、新たな介護計画の作成や定期的な計画の見直しをしている。	○	計画見直し時にモニタリングにそって話し合いする取り組みを期待する。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の希望に応じて、通院介助や買い物の支援をしている。 今年5月よりショートステイを開始し、利用の送迎等柔軟に対応している。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者の状況に応じた通院や3週間に1回の通院のほか、家族の希望するかかりつけ医等への受診支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者の状態に応じ、本人・家族・医療機関・職員等で話し合いを持ち、重度化に向けた対応方針の共有を図っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、トイレ介助や居室の出入り等利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮したケアに取り組んでいる。 また、契約時に個人情報取り扱いについて説明し、関係書類等は決められた場所に保管している。	○	受付簿からの、個人情報漏洩防止を図る取り組みを期待する。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースや体調に配慮するとともに、その時の本人の気持ちを尊重し、畑仕事や居室の清掃、洗濯たみや配膳等利用者の希望にそった柔軟な対応をしている。		

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの畑から利用者と一緒に野菜を採ってきたり、材料を切ったり、配膳や下膳等できることを一緒にしている。	○	食事時むせたり、飲み込むのに時間をかけている利用者が多く、嚥下体操や口を湿らすなど、食事前の支援方法を検討することが望まれる。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者や家族の希望に添った入浴支援をしている。 また、利用者の希望により清拭や足浴等も実施している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	配膳や下膳・食事の準備・野菜の手入れ・カーテンの開閉・居室や廊下の掃除・洗濯物の片付け・絵を描いたり盆栽の手入れ等、利用者一人ひとりにあった楽しみや役割を見つけて支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望により散歩や買い物、野菜の手入れや草取り等の支援をしている。 また、家族によるお正月・お盆時の帰宅や通院介助、行事等への支援がある。	○	利用者の気分転換やストレスの発散、五感刺激の機会として、積極的に買い物やドライブ、楽しみごとの行事等、日常的に外出できる個別支援を提案する。
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中も玄関には鍵を掛けておらず、利用者の安全面に配慮しながら自由な暮らしを支援している。 利用者が外出するときはさりげなく職員と一緒についていく等の支援をしている。	○	入所間もない不安定な利用者への対応について、より安全に安心して生活できるケアの取り組みを提案する。

☆この評価結果は、グループホームが自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日のホームの状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練やホーム独自の訓練を実施しており、マニュアルを作成している。	○	地域の人々の参加・協力を得た訓練や、災害に備えた物品等の準備を提案する。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員は利用者の食事量や水分量、摂取カロリー等を把握しており、利用者の身体機能に応じた量や刻み食などの支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアにはソファーや書棚、畳の部屋にはコタツやテレビを設置し、一人で過ごせる場所を確保している。 食堂のテーブルや廊下・玄関等には花や植物を飾っている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室は、本人や家族と相談し使い慣れた馴染みの時計や家族の写真、机や盆栽、小物入れや手作り品、テレビやラジオ等が持ち込まれており、安心して過ごせる工夫をしている。 また、各利用者の居室より庭に出ることが出来、盆栽の手入れや散歩、畑の観察等五感刺激を配慮し居心地よく過ごせる工夫をしている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。